

おーじとしずくとたなっちの

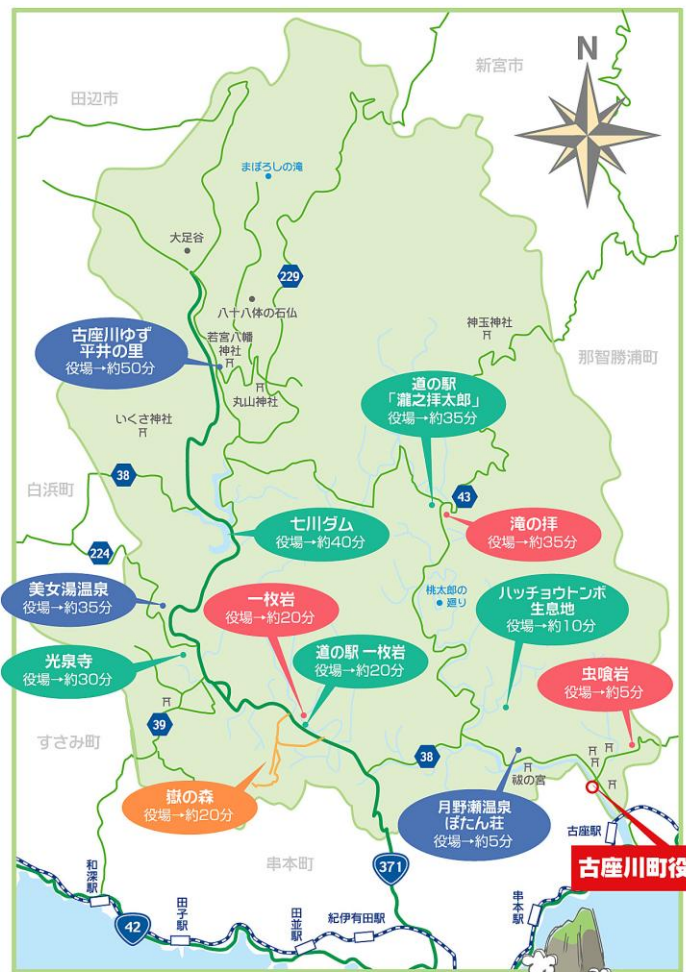
# あの町この村ぶらり旅

Vol.20 古座川町特集

古座川町は和歌山県南東部に位置し、大半の集落は川添いの狭小な耕地に散在し、町を形成しています。特に、町の中央を流れる古座川は日本有数の清流。支流の『滝の拝(たきのはい)』は、川床がすべて岩床で、清流の佇まいを一層引き立てています。国指定天然記念物「古座川の一枚岩」は、高さ100メートル、幅500メートルの大きな一枚岩で、『天柱岩』『飯盛岩』『ぼたん岩』『高池の虫喰岩』などの、古座川の奇岩とつながっています。これらは紀伊半島の生い立ちを物語る貴重な地質遺産のひとつとして、平成21年5月10日「地質の日」に、和歌山県唯一の日本の地質百選「古座川弧状岩脈」に選定されました。

また、昭和40年頃に始められた柚子生産は町の特産品として定着。柚子酢のほか、ジャムやジュースなどの加工品作りも盛んに行われています。

大自然を満喫できる古座川町は、清流に培われた元氣あふれる町です。



## 清らかな流れに癒され、自然の壮観に心満たされる町。



絵巻物のような世界、あでやかな河内祭り。河内祭り(こうちまつり)とは、古座川流域の5地区(古座・古田・高池・宇津木・月野瀬)による伝統祭礼で、重要無形民俗文化財に指定されています。毎年7月24日が宵宮、翌日25日が本宮。華麗な装飾を施した3隻の御舟(みふね)の水上渡御がメインで、源平合戦に参加した熊野水軍の戦勝を祝ったのが始まりともいわれています。地元各区による伝統の獅子舞奉納なども見応え充分。

### 古座川町へのアクセス

#### 車の場合

「大阪・京都方面から」  
 松原JCT  
 阪和自動車道 和歌山方面  
 ↓和歌山IC(約50分)  
 ↓南紀田辺IC(約50分)  
 ↓熊野街道を南下(国道42号)  
 ↓古座川町(約120分)

#### 電車の場合

JR新大阪駅から、JRきのくに線特急に乗り、JR古座駅まで約210分。



春の七川ダムの湖畔は、3000本のソメイヨシノが咲き乱れる日本桜百選の名所です。毎年4月上旬には「桜まつり」が開催され、地元物産店が開かれたり、餅まきが行われたりと、多くの花見客で賑わいます。



### 佐田の桜、春の風物詩。

古座川町三尾川の光泉寺にある大銀杏は、推定樹齢400年。垂れさがったコブが乳房のように見えることから、別名「子授けイチヨウ」とも呼ばれています。紅葉の見頃は11月下旬です。



### 光泉寺の子授けイチヨウ。



### 直見のハッチョウトンボ

ハッチョウトンボは、体長約2センチメートルの世界最小サイズのトンボです。オスはオレンジ色から赤色へと変わり、メスは黒と黄色のまだら模様。和歌山県のレッドデータブックでは準絶滅危惧種であり平成13年には町の天然記念物に指定されました。また、環境省指定指標昆虫のひとつでもあります。平成4年に休耕田となっていた直見地区の湿地で生息が確認され、直見区民や「古座川トンボの会」が冬場の湿地の手入れをして保護活動をしています。



### 道の駅 瀧之拝太郎

「滝の拝」のほど近く、廃校になった小川中学校の跡地を整備して「道の駅 瀧之拝太郎」がオープン！道の駅に隣接し、役場の出張所や診療所などが入居する「小川総合センター」が開設されています。



### 道の駅インフォメーション

名勝「古座川の一枚岩」の対岸にある道の駅。地元周辺の物産販売、喫茶レストランのほか、古座川の自然や文化を楽しむ人々のためのヒジターセンターとしての機能も担っています。



# Lives to KOZAGAWA

古座川に生きる一、定住先で企業することは、とても大変なことです。  
生まれた街を離れて大自然の中で生きていくことを決意した彼らの“心の中”を、少しだけお伺いしてみました。



## 谷哲也さん

ナンタンアドベンチャーシステム「川坊主」

### ダッキーで起業、不安と可能性。

京都府の保津川をメインに、高知県の四万十川、徳島の吉野川、岐阜県の長良川などを転々としながら、10年以上ラフティングやカヌーのガイドをしてきました。

ダッキーとは、空気注入式カヌー型のゴムボートのことで、カヌーと違って、船がひっくり返りにくいのが特徴。ダッキーは色々な遊び方ができるんです。滑り台にしたり、重ねてうえに立って川に飛び込んだり。ずっと趣味でやっていたんですが、その魅力にとりつかれて、職業にしてみようと思ったんです。例えば、最近のことも竹で作る水鉄砲の遊び方を知らない。でも教えてあげると、大人よりも飲み込みが早いですよ。ダッキーには、遊びの原点がある気がします。



### 地元の人々との連携。

月の瀬温泉 ぼたん荘にご協力いただき、平成23年、試験的にダッキー体験を始めました。反応を見て手応えを感じ、平成24年3月に「ナンタンアドベンチャーシステム 川坊主(かわぼうず)」として、起業しました。ぼたん荘は宿泊とセットでダッキー体験というプランを観光客に提供できるし、僕としても、集客場所、シャワーや着替えなどの場所を提供してもらえると、お互いにメリットがあります。地元の人々、定住して新たに起業したい人間が、力を合わせて共存できるのはありがたいことです。地元の方には本当に感謝しています。

### 古座川に生きる決意。

昔から都会のビル街が肌に合わなくて、川と山、海をぼんやり眺めながら生きていきたいと思っています。今は町内に住んでいますが、古座川でこの仕事を続けていきたい。6月頃、暖かくなってきたら本格始動ですね。

谷さんのダッキー体験に関するお問い合わせ・お申込みは、ナンタンアドベンチャーシステム川坊主(080-0509-4649)まで。

## 木田 敦さん

陶芸工房「陶月(とうげつ)」

### 陶芸を始めたキッカケ。

大阪府出身ですが、昔は全国を走り回るトラック運転手をしていました。元々陶器を見たり集めたりするのが好きで、ある日、とある備前焼の壺に目惚れしたんです。どうしても欲しいと思ったんですが、とても高くて…それじゃあいつ、自分で作ってしまおうと思ったのが陶芸を始めたキッカケです。最初は陶芸教室の講師などを勤めていたんですが、陶芸の奥深さにどんどん惹かれていき、これを生涯の仕事にしようと考えました。それから兵庫県でもう一度、本格的に陶芸の修行をしました。

### 地球が作った陶芸作品。

古座川町に腰を据えたのは平成22年。色々なところを見て回ったけれど、一枚岩に惹かれたんです。地球の火山活動でできた一枚岩、これは地球が作った大きな陶芸作品だ、という風に思っています。そのお蔭で、土、水、石、すべて古座川産にこだわった「古座川焼」を作れないかと考えています。

## 和歌山県には、焼物の産地がないですし、新しいものを作り出してみたいんです。

### 古座川の流れとともに。

平成24年夏頃から本格的に陶芸教室を始動しました。ろくろを使って思い思いに作ってもらって、焼きあがった完成品を数日後に郵送します。古座川町の観光はアクティビティな体験が多いから、雨天時の対応策として、陶芸教室はどうかと考えています。地元の人たち、本当に感謝しているからこそ、自分のできごとで、町の力になれるなら良いなと思っているんですよ。小さい町ですし、みんなで力を合わせていかなければ。



木田さんの工房と「体験交流施設 ゆずの学校」で陶芸体験ができます。お問い合わせ・お申込みは陶芸工房「陶月(とうげつ)」(0735-704102)まで。





# ~獄の森の ジャイアント~ KOLAGAWA QUEST

多数の登山コースがある古座川町。  
今回は「獄の森」にチャレンジした、たなっち一行。  
さて、無事登頂することができるのでしょうか…?



スタートして間もなく、険しい山道に息があがる。すぐ脇を雨水が流れる「ナメトコ岩」エリア、足元にボコボコと穴があいています。戦争後、植林のため、先人が歩きやすく岩を削ったのだそう。  
ロッククライミングさながらの山道を行き、山頂の雄岳へ。  
すぐ隣の雌岳にある巨岩「獄のジャイアント」は、男性が横を向いているように見えます。  
さて、登頂に成功したあとは下り道。石垣のような「豆腐岩」は、岩を積みあげているように見えるけど、実は繋がっているんだとか。たなっちでも無事制覇できた「獄の森」。  
約2時間半の冒険で、色々な景観が楽しめます。役場などにたくさんコースの地図が設置しているので、気軽にチャレンジしてみませんか？



ナメトコ岩

昔の人が削ってくれたから歩きやすい



は、険しい!!



本当に登れるのか?!



獄のジャイアント!

下り道もサバイバル!



豆腐岩

## 古座川町のピックアップ情報局

大自然が育んだ“不思議”を大紹介!



### 滝の掙 たきのはい

川岸の奇妙な形の岩盤は、水の流りに浸食され、削られてできたそう。重石をつけて鮎を引っかけて釣る『鮎のトントン釣り』が有名。



### 一枚岩の守り犬

国指定天然記念物、一枚岩。毎年4月19日と8月25日の前後3日間、夕方5時から約5分間、一枚岩に犬の形をした影が現れます。対岸にある『道の駅 一枚岩 (鹿鳴館)』のオーナー室 實信さんが第一発見者で、数年前に愛犬を亡くした際、ふと一枚岩を見ると犬の形が現れて驚いたそう。魔物を追い払った一枚岩の犬の伝説もあり、古座川町では「守り犬」として親しまれています。



### 虫喰い岩 むしくいいわ

デコボコ、ブツブツの不思議な山。風雨の浸食によってできたそう。穴のあいた小石に糸を通して願掛けすると、耳の病気が治るとも。



### 町のPRキャラクター誕生!

平成24年9月、町内に伝わる民話などをモチーフにしたキャラクター「一枚岩の守り犬」と「瀧之掙太郎」が商標登録されました。同年11月に完成したばかりの瀧之掙太郎の着ぐるみは、これから町内外のお祭りやイベントで、町の新しい“顔”として大活躍の予定です。



# 今も昔も続いていく、 柚子農家の母の「想い」。



古座川町の奥まった山間部に平井地区があり、約200名の住人は柚子の栽培や加工に力を合わせています。建物付近に漂う爽やかな柚子の香り、「古座川ゆず平井の里」は、体験交流施設として「ゆずの学校」を開校している。地元の人たちに教わる柚子くんは、マーマレード作り体験、蜜蝋リップバーム作り、2ページに紹介した木田さんの陶芸教室も。今回はマーマレード作りを体験。分量は、柚子皮500グラム、水250グラム、砂糖500グラム、柚子果汁100グラム。お鍋に入れて煮込んでいきますが、あまり火にかけすぎると柚子の苦味が出るので注意。かつて柚子農家の母さんたちが、柚子酢を搾って残った皮でマーマレードを作り残ったのが、平井の柚子加工製品の始まり。このマーマレードはその頃のままのレシピなんだそうです。先人の味は、いつまでも受け継がれていくんですね。



## 想い繋ぐ、今と昔。

柚子製品の販売、郷土料理や軽食が食べられるカフェ「古座川ゆず平井の里」。柚子マーマレードを使用した柚子シフォンケーキは、口の中に広がる柚子の風味と、ふわふわとした食感がとても美味しくて当地スイーツ。ぜひご賞味あれ。ぼん酢やジュース、石けんなど、町で作られる柚子加工製品のバリエーション。これらもきくと、柚子農家のお母さんたちが試行錯誤して生まれたんですね。こちらのカフェで使われている陶器の器は、木田さんの作品。地元の方、新しく移住された方、共通する想いは「古座川町をもっと知って、もっと遊びに来て欲しい」という気持ち。町への愛情。その想いが未来へ繋がっていく。そして、今も昔も。



## 古座川町 温泉&お宿

「月の瀬温泉 ぼん荘」は、温泉宿泊施設。日帰り入浴も可能(6000円)。無色透明で、とろみのあるお湯は、非常にたなっ好み。単純硫黄泉です。谷口さんの「キ」体験スペースも。こちらの施設を利用して。併設しているレストランでは、美味しいランチも楽しめます。町内には、ほかにも宿泊施設が多数。詳しくは古座川町役場までお問い合わせを。

## 真実は歴史に埋もれて、 謎の郷土料理。

サンマ寿司に柚子果汁を使った「さらら寿司」など、平井地区には数々の郷土料理が伝えられています。その中でも特にユニークなのが「うずみ」。椎茸と昆布などのだし汁に豆腐を入れたおすましに、ご飯を埋うずめて食べる、というのが名前の由来。平井地区では、昔から法事の前後に食べられてきました。しかし、面白いことに、すぐ隣の集落ではうずみを食べる風習はありません。この地だけに、伝わってきたのです。かつて源平の戦いに敗れた平家の落人が、この地でひっそりと伝えたそうですが、その詳細は謎のまま。京都に「うずみ豆腐」と呼ばれるものがあったり、備前(岡山県)にも同じ名前前の料理があったり。諸説ありますが、今となつては、真実を伝えるものは残されていないそう。歴史のロマンを感じますね。食べ方には作法があり、だし汁をお碗に入れてから、その後に、ご飯を盛りなければなりません。椎茸の風味が効いていて、とても上品。薬味は白ごま、生姜、ネギ、みかんの皮。さらさらと食べられるので、消化にも良いですね。町内の「古座川ゆず平井の里」と「道の駅 一枚岩」で食べることができます。(要予約)

